

九州大学基幹教育院木實研究室では下記の実験を実施しております。ご自身が親権者等である未成年の方が本実験の対象者に該当する可能性のある場合、実験への参加を希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	調べ学習における学習行動と知識変化の分析
研究責任者	木實 新一（基幹教育院）
研究の目的	本実験では、ウェブ検索、図書館等における資料閲覧、厳選された書籍ダイジェストの閲覧の3つの手段を用いた調べ学習に対して、学習行動パターンと知識の変化を概念地図（概念を示すキーワードを線でつないだ図）により分析を行います。実験参加者は九州大学の学生であり、パソコンを用いて調べ学習を行ってもらい、その際のログデータと、調べ学習のテーマに関連する概念を線でつないだ図（概念地図）を解析します。併せて簡単なアンケートにも回答していただきます。 本研究を実施することにより多様な情報空間における学習行動と知識変化の関係性を明らかにすることができれば、学習者が効果的に知識を広げることのできる調べ学習環境を構築しやすくなることが期待できます。
研究の方法	●対象者 研究対象者は、ウェブ上のアンケートシステムを用いて自らの意思で参加申し込みをしていただいた20～40名の九州大学の学生です。 ●利用する情報 ・パソコン上のウェブブラウザが記録したアクセスログを抽出するソフトウェア（History Master）を用いてアクセスログを取得・利用します。ウェブブラウザに記録される、調べ学習中にウェブブラウザでアクセスしたページのURL、タイトル、アクセス時刻、別ページからのクリックによるアクセス回数、URL 直入力によるアクセス回数、URL の番号を History Master を用いて抽出・取得します。 ・書籍ダイジェストにアクセスした際の時刻、ユーザ ID、コンテンツ ID は、書籍ダイジェストを設置した大学の研究室のウェブサーバから取得し、分析のために利用します。 ・実験参加者が Web 上のマインドマップ描画ツール Miro (https://miro.com/) を用いて、調べ学習のテーマに関連す

	る概念を線でつないだ図（概念地図）として調べ学習の成果を記録したデータも収集します。 ・調べ学習前に調べたいと思ったことのキーワードを記録したデータ、図書館で調べ学習中に閲覧した書籍名等のデータ、「調べ学習に関するアンケート」の回答データも収集します。 ・実験実施者は気付いたことなどを PC 上のテキストエディタを用いた実験ノートにメモします。
試料／情報の利用者の範囲	●学内 基幹教育院・教授 木實 新一 共創学部・准教授 岡田 昌也 システム情報科学研究院・助教 谷口 雄太 システム情報科学府・修士2年 陳 家東 ●学外 株式会社情報工場 藤井 徳久 株式会社情報工場 富岡 桂子 株式会社情報工場 若林 智紀
個人情報の取り扱い	得られた実験データは記録・解析されますが、あなたの名前や映像などの個人情報は一切公開されることはありません。そのため、実験データは対象者ごとに ID で管理し、データから対象者が特定できないようにします。 得られた実験データは、個人情報を厳密に保護したうえで、二次利用する可能性があります。二次利用する場合は、事前に倫理委員会からの審査を受け、倫理委員会で承認された方法に基づき、適切に利用します。 得られた実験データは記録・解析され、セミナーや研究会、学会、国際会議、学術論文等で公開されますが、実験参加者の氏名や住所など個人を特定できる情報が公開されることはなく、実験参加者のプライバシーは保護されます。ただし、適正に研究が行われているかどうかを確認する必要がある場合は、守秘義務のもとで倫理委員会委員が個人情報を含む調査・実験データを見る場合があります。
お問い合わせ先	木實 新一 電子メール：konomi@artsci.kyushu-u.ac.jp 電話：092-802-5875